



そよ風

2025年
10～12月号
No.145

横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

やさしい日本語

「じしんが起きたら」

ぼうさいとくしゅう
防災特集

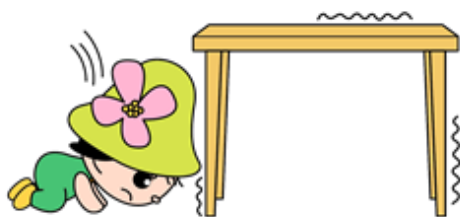
「じしん」は、いつ起こるか分かりません。

予想もできません。何回もゆれることがあります。

港北区に「つなみ」はきません。



①じしんが起きたら、けがをしないことがいちばん大事です。



からだ
体をひくく



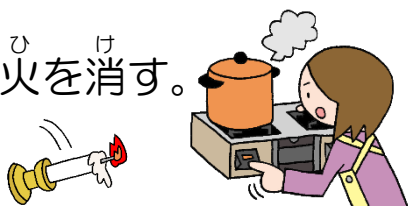
あたま まも
頭を守る



うご
動かない

②ゆれが止まったら、コンロや

ろうそくの火を消す。



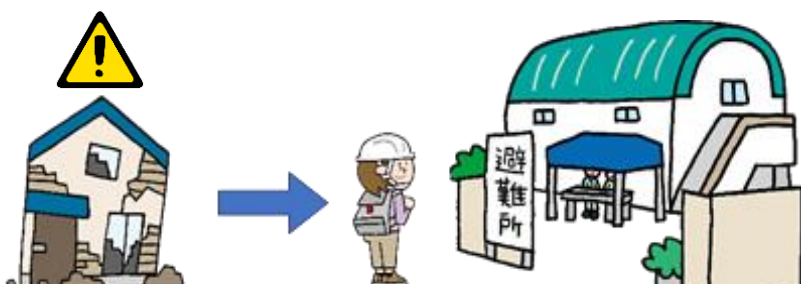
エレベーターに乗っている時は、

すべてのボタンを押して、
ドアがあいたらおりる。



③家がこわれていない時は、そのまま住む。

家に住めない時は「ひなんじょ」にいきましょう。



近くの小学校か中学校です。だれでも入れます。



水やたべものがもらえ
ます。少ないので家に
備えておきましょう。

わたし かつどう 私 のボランティア活動 (No.29)

日本語教室火曜クラス 岩崎 恭子 さん
「いま、おもうこと」



このラウンジで日本語ボランティアを始めて四半世紀になります。一期生です。過ぎれば早いものです。その前年に横浜に越してきて、近所に友だちも知人もおらず、手持無沙汰にしていたとき、港北区の広報で「港北区国際交流ラウンジ新設」ボランティア募集の案内を見ました。「国際交流」の意味も考えずに何となく応募、説明会のために区役所へ行きました。受付で「交流、広報、日本語教室」からひとつ選ぶようにいわれ、「どれにしようか神様の…」で当たったのが日本語教室でした。

その後、横浜国大の先生の養成講座が始まりました。十数回あったと思います。「みんなの日本語」を買って、一度も休むことなく、まじめに講座を受けましたが、当初、内容はさっぱり。質問をしようにも、何を質問したらいいのかもわからず、養成講座は終了しました。

その9月のラウンジオープンとともに日本語教室も始まりました。何でもはじめは大変なものですが、授業の準備もとても大変でした。そのころはインターネットで教案などはなく、教案作成のバイブルは「新日本語の基礎 教え方の秘訣」という本でした。もちろん仲間ともいろいろ共有したりもしました。

そんな中、懸命に日本語を学ぼうとする学習者は可愛く、新しいことばや文型を覚えたときは喜びを感じました。仲間との交流も楽しみでした。ラウンジで「おはよう」「おつかれさま」と声をかわすだけです、そこには同じ目的を持つ仲間がいて、自分の居場所がありました。専業主婦のわたしは社会とのつながりも感じました。

スタート時は新設の火曜日と金曜日クラスと、すでに別のところで活動していた木曜日クラスとの3クラスでした。現在は日吉サテライトクラスを入れると9クラスもある大きな組織になりましたが、それを担っているのは我々ボランティアです。ボランティアのみな

さん、がんばりましょう。これからも楽しい日本語教室が続いてくれることを希望しています。

フラメンコの魅力

フラメンコを知ろう！感じよう！

6月22日 日曜日に「フラメンコの魅力」が開催されました。衣装やスカーフ・扇、ステップを踏む台などが飾られた会場に、華やかな衣装を着けた講師が入ってきました。いつもはラウンジでスタッフをしている矢野 郁さんは、実はスペインに留学したこともあるフラメンコの踊り手です。



フラメンコは東からスペイン南部アンダルシアに移動してきたロマ（スペイン語でヒターノ）の人々の生活から生まれました。移動中にアラブ、ユダヤの影響を受け、定着先のアンダルシアの文化も採り入れ、現在も変化を続けています。フラメンコときくと「踊り」というイメージがありますが、実は歌（カンテ）ギター（トケ）踊り（バイレ）の3つの要素が組み合わされます。この3つをつなぐのがコンパスで手拍子（パルマ）などで表されます。観客の「オレ！」や「ビエン！」といった掛け声（ハレオ）も舞台を盛り上げるのに欠かせないそうです。

いろいろな用具も紹介されました。後ろの裾が長いスカート（バタ・デ・コーラ）は踊るときに遠心力がかかるので扱いが難しく、扇（アバニコ）を広げるのにもコツがあるそうです。中休みの時間には、参加者の皆さんがカスタネット（パリージョ）や扇（アバニコ）に挑戦していました。

中休み後は踊り体験です。立ち上がって、足・からだ・手の動きを順を追って練習した後、組み合わせて踊りました。皆さん生々と身体を動かしていました。最後に矢野さんの踊りが披露されたときには会場から「オレ！」という掛け声が出ていました。帰っていく皆さんは「楽しかった」、「踊りを体験できてよかった」と笑顔をみせていました。

中休み後は踊り体験です。立ち上がって、足・からだ・手の動きを順を追って練習した後、組み合わせて踊りました。皆さん生々と身体を動かしていました。最後に矢野さんの踊りが披露されたときには会場から「オレ！」という掛け声が出ていました。帰っていく皆さんは「楽しかった」、「踊りを体験できてよかった」と笑顔をみせていました。

にほんごがくしゅうしゃしょうかい

日本語学習者紹介(No.41)

フィリピン出身ご夫妻

サニコ チャリティーさん(チャ) セブ島

サニコ ジョセフさん(ジョ) レイテ島



Q、いつ、どうして日本に来たのか教えてください。

チャ、夫のジョセフと一緒に教師をしていましたが、日本には30人くらいの親戚がすでに住んでいて、日本で働かないかと誘われ、2022年11月来日しました。

ジョ、私は昨年の6月退職して来日、妻と同じ食品工場で働いています。仕事はとても忙しくほとんど10時間から12時間労働です。フィリピンで教師をしていたときより待遇はるかに良いので苦になりません。

Q、では来日前から日本の知識はあったのですか？

チャ、ジョ、知人から日本はスーパークリーンで、安全だと聞いていましたが、その通りだと思います。交通も便利で日常生活にはほとんど不便は感じません。

Q、どんなことに不便を感じますか？

チャ、私たちは賑やかな生活に慣れているので、日常が堅苦しく感じます。電車内では大声で友人と話せないし、ケータイで話もできない。街全体が静かすぎると思います。それと物価がとても高いですね、3年前に比べ物価上昇のスピードがとても早いです。特に最近のお米の値段は急で、朝昼晩三食お米を食べる私たちには堪えます。お米を食べないで他の代替食がないか、ノーライスの日を作るか二人で相談しています(笑)

Q、故郷の食べ物で恋しく思うのは？

チャ、ジョ、LECHON(レチョン:豚の丸焼き)です。日本でもローストポークはありますが、豚一匹をそのままローストしたものはありません。皮の部分がパリパリでとてもおいしいのです。デザートではKAKANIN(カカニン)といういろいろな種類のもち米のお菓子です。バナナの皮で包んだものが多いです。

Q、休みの日には旅行に行ったりしますか？

チャ、休みの日は家にいることが多いですが近くの温泉にはたまに行きます。

ジョ、まだ日本の温泉には行ったことはありません。故郷のレイテ島には火山があり、温泉もありますが、病氣療養が目的で水着着用です。

チャ、ジョ、二人とも仕事が忙しくまだ神奈川県外には出たことはありません(笑)

Q、ラウンジの日本語学習はどうですか？

チャ、ジョ、ラウンジでのレッスンは楽しいですが、思うように上達しません(笑)アルファベットは同じなので分かりやすいですが、発音そして、ます形、です形に変化させるのが難しいです。

日本のお医者さんに英語ができる人が少ないので、病院で日本語で説明できるようになりたいです。10歳の男の子がいますので、正確に症状を伝えたいです。

Q、フィリピンのおすすめ観光地を教えてください。

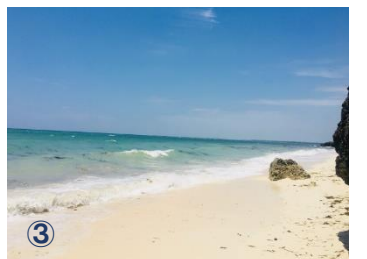


①ボホール島のチョコレートヒルズ。



②パラワン島のプエルトプリンセサ地底河川国立公園。1999年にユネスコ

の世界遺産に登録されました。③バンタヤン島はセブ島近くの離島で、真っ白い砂浜が美しいです。



誰でも うまくなる 楽しい けん玉!



夏休み真っ盛りの8月16日、世界レベルのけん玉パフォーマンスの披露と体験のイベントが開催されました。けん玉講師は川崎剛先生。世界レベルの技を見せてくれる六人のけん玉先生は小学生と中学生です。見たこともない素晴らしい技に皆さん拍手喝采でした。

けん玉体験では、段階的な習得方法で早くコツをつかめるようになり、子供たちだけでなく、お父さんお母さんたちも「できたー!」とあちこちで歓声が上がりました。

けん玉検定は十人が挑戦し、合格証をもらいました。

やさしい日本語 防災特集

地震や台風の時、困らないように準備してください。

●家に準備しておくもの

水（1人9リットル）、食べ物（3日分）
 飲み水、お米、缶詰、カップ麺、
 カセットコンロ、LEDライト、でんち
 マッチ、ライター、水タンク、てぶくろ、
 ガムテープ、ビニール袋、ラップ
 携帯トイレ、ウエットティッシュ
 トイレットペーパー、ほうたい



水・たべもの



ライト・でんち



水タンク



水が出ないときに
つかいます。

●すぐに持っていけるようにするもの

お金、パスポート、在留カード、のんでいる薬、
 おくすり手帳、ばんそうこう

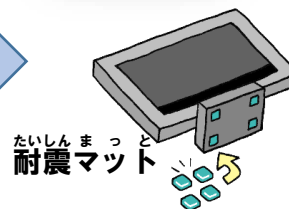
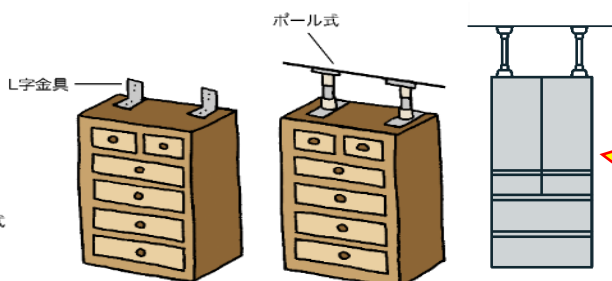


ラウンジ窓口でもらえます。

多言語対応おくすり手帳（¥0）
 英語・中国語・韓国語・スペイン語
 ベトナム語・フィリピン語
 ウクライナ語があります。

●ふだん準備しておくこと

テレビや家具が、たおれないように
 「金具」や「つっぱりぼう」でとめましょう。



耐震マット

こうなる前に準備しよう

こまったときは

横浜市外国人
 災害時情報センター
 (YOKE災害情報サイト)



Tel 045-222-1209
 Email saigai@yoke.or.jp

横浜市港北国際交流ラウンジ
 KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1
 Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671
 E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp
 ホームページ https://kohokulounge.com/



Website



Facebook



Instagram